

## 第12回 東備西播定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事概要

日時 平成30年11月21日(水) 10:00~12:00  
場所 備前市市民センター 視聴覚室  
出席者及び構成員等 委員11名 (内アドバイザー1名)  
ワグザバー 2名 (岡山県2名、兵庫県1名)  
事務局8名 (備前市3名、赤穂市3名、上郡町2名)  
説明員10名

### 議事の概要

- 1 開会
- 2 座長あいさつ
- 3 報告(東備西播定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について)
  - ・意見なし
- 4 協議事項(東備西播定住自立圏共生ビジョンの平成31年度見直し(案)について)

#### 【アドバイザー】

- ・住民への周知も不十分だが、外への広報も必要。さまざまなプランに基づく事業において、こういうことをやったという実績など、情報が届いてない。
- ・民間イベント助成について、助成対象の団体が増えているのか。できるだけたくさんの方が参加することが望ましい。同じ団体ばかりではだめだ。27年度から31年度のビジョンを総括する際には分析がいる。
- ・それぞれの市町が活性化することは、定住と自立だ。まずは中の住民がここに住んでよかったと思える取り組みと、圏域外の住民にも知ってもらう戦略が必要。備前市は保育園無償化を早くからやっている。そうした先進的な施策をもっと周知すべきだ。また、効果が上がらないものは続けてはだめ。効果の検証を。次のビジョンを策定するのであれば、PRの強化を頭に入れておくこと。「たくさんの人に知らせる」ということがキーワードになる。

#### 【JR 利便性向上について】

- ・JR利便性向上について、ICOCAが設置された。今年度は具体的にどのようなことをやるのか。
- ⇒ 機運を高めることが必要。先般、記念式典をやった。上郡、西片上でやり、記念演奏やのぼりの掲示を行った。また、備前市としては、ICOCA購入2000円に対し1000円の補助を行うため500万円を予算化したほか、備前ナイトバーやオクトーバーフェストなど、アルコールの提供を伴うイベントを開催することで公共交通の利用が促進するよう努めた。これら以外にも伊部駅にコインロッカーの設置なども行っている。

## 5 意見交換

### 【地域公共交通ネットワークの構築】

- ・ICOCA について、先日はじめて使ったのだが、非常に良いものだと感じ、新しい知識を得ることができた。
- ・ていじゅうろうを活用したバス事業を展開している。

### 【民間イベント等助成事業】

- ・バラバラではなく、合同で大きいイベントをやってはどうか。何かインパクトのあるイベントをやれば認知が広がるのではないか。
- ・助成事業について周知が足りていない。もっと広報を。
- ・過去の助成団体と新規が分かるように記載の工夫を。PR 活動をもっとやるべき。
- ・評価ができていない。見直し必要。民間イベントで助成しているのは同じところばかりではないか。

### 【縁結び事業】

- ・縁結びサポーターは行政の担当が変わるたびに方針が変わるような気がする。この仕事の難しいのは個人情報面の面だ。どこまで踏み込んでいいものか。
- ・婚活事業を8回開催しているが、成婚にまでは至らない。人口増に向けて頑張りたいが個人情報の関係で踏み込めない。

### 【産業振興について】

- ・外国人法が改正され、労働力として入ってくるだろう。人口増につながるよう、考えていく必要があるのではないか。
- ・人手不足が課題となっているので、そのあたりを踏まえて考えてほしい。
- ・農業の担い手不足が深刻。地域おこし協力隊を入れてほしい。

### 【その他】

- ・備前市では中学統合の話が出ているが、地域には必要。考えてもいいのではないか。

### 【アドバイザー】

- ・対人援助の大学なので人に来てもらいたいし、圏域の子どもとのかかわりを深めたい。お互いに刺激しあうことが大事だ。
- ・学校の統廃合については、人口減地域で急激に進む。教育的な効果を考えると、子供同士の関わり合いが重要。
- ・地域での子育てについて、子育て支援がビジョンに上がっていない。2市1町で協力してやっていくことが大事ではないか。そのまちの将来を左右する問題だ。保育士の不足は深刻で、YouTube でPR しているところもあるぐらいだ。子育てしやすい環境だということを経営で伝えること。
- ・同時に働く場所の確保も大事だ。企業誘致を進めていくこと。AI の活用もあるが、人が集まってくることでにぎわう。物事が変わる時代にチャンスがある。情報を外に出していくこと。